

## グローバルな知財競争力の強化

### グローバルな知財戦略の強化

海外においても知的財産権の適切な活用  
(武田薬品アクロス®米国後発品訴訟の例)

長谷川 閑史

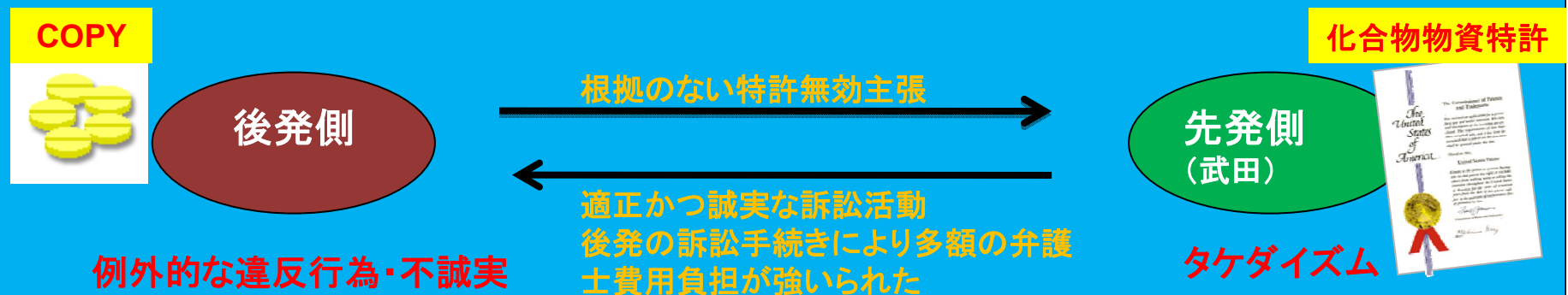
武田薬品工業株式会社

2009年4月6日

# 海外においても知的財産権の適切な利用

## 米国での弁護士費用償還事件

- 武田の主力製品アクトス®(糖尿病治療)に関する米国での後発品訴訟
  - 後発企業Mylan社、Alphapharm社が武田の物質特許の無効を主張
  - 後発企業は主張点を何度も変更し、根拠のない訴訟手続きを行った
  - 控訴裁判所は**例外的な違反行為および不誠実**があったと認定し、武田への**弁護士費用(計約\$16.8MM)**の償還および**地裁判決から支払いまでの期間の金利分(約\$2.0MM)**の支払いを命じた。



不適切な後発会社の訴訟遂行には毅然たる態度で臨む  
米国訴訟制度では種々煩雑な手続きや高額な費用が必要であるが、状況に応じて  
弁護士費用償還などのフェアな仕組みも組み込まれている

後発側による米国後発訴訟制度の濫用ともいえる、先発側特許(特に物質特許)  
への安易な挑戦を抑制

# APENDIX

# 技術開発・革新が患者に有益な製品を提供する

Multiple Unit型経口モルヒネ徐放剤「パシーフカプセル」®

